

かがやき

令和7年10月8日（水）
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき
教室通信 NO.10

小集団指導の中で見つける「外の世界」

後期が始まります。子供たちの小学校生活も今年度の残り半分です。支援教室での指導場面でも、日々の変化と成長が続いていると感じます。今回は2年生の小集団指導での成長についてレポートします。

低学年での小集団。最初は「自分の世界」しか知らない子供の集まりです。自分が伝えたい、表出したい気持ち（あるいは見せたくない気持ち）をストレートに出します。相手や周囲を意識して自分の行動を調整していくのはまだまだ先のことでもあります。ただ、こうした成長の過程でも日々繰り返していく学習場面の中に「成長」を感じることができます。2年生の小集団はそれぞれが輝く個性の集団です。その中の一人Aさんはとてもまじめな子です。ルールはちゃんと守りたいし、自分もちゃんとやりたい。ただ、自分が失敗したり負けたりすることにも敏感です。この日は学習の後半にトランプでの「ババ抜き」を設定していました。最初「負けるからやらない！」と演習でのトランプを拒否していたAさん。でもこの日は小集団内の仲間の声掛けに反応し、しぶしぶ演習に参加してくれました。（これまでだと、参加の流れにはなかなかならないことが多くありました。この輪に入ることができるようにになったことも成長ですね。）ゲームはスムーズに進んでいきましたが、この日は特にゲーム内にカードを調整するなどの仕掛けをしておらず、純粋に時の運でゲームは終盤にさしかかりました。そこで残ってしまったのはAさんとB君。一対一決着にどうなるかなあ。と周囲もドキドキしていましたが、結果はAさんの負けになってしまいました。でもこの時、早めに一抜けしていたC君に「もしかしたらAちゃんが負けちゃうかもしれないから、そうなってAちゃんが怒り始めたら「大丈夫だよ！」って声をかけてくれない」とお願いをしていました。そして、いよいよ負けてしまったAさんは「もういい！」と教室の後方のパーテーションにいこうとしました。その時C君が「大丈夫だよ！大丈夫！」と声をかけてくれました。いつもだとそのまま怒ってしばらくイライラする時間が続くAさん。でもこの時はC君の声にも反応したのか、途中ではつが悪そうに思わずニヤッと笑ってしまいました。その後、わずかな時間で気持ちを切り替えて再度みんなの輪に戻ることができました。これまででも、周囲や自分の中のマイナスの感情に敏感に反応してそのつど「自分の世界」だけで気持ちの調整に苦しむことがあったAさん。でも、今回の場面からこうしたマイナスな刺激を周囲とも共有できていいいんだということに少しずつ気が付き、自分の中でどう調整していくのかについてちょっとずつわかつてきた部分があったかなと感じました。

「自分の世界」の気持ちや感情に気が付いていくこと。そして「外の世界=他者」とも自分がつながっていることに少しずつ気が付きながら自分の感情表出の仕方を学んでいくこと。今後も小集団指導の中でちょっとずつそんなスキルを積んでいけるようになるといいなあ。そんなことを思いました。

中学校体験の様子

「中学校体験・中学ってどんな所だろう 6年生の小学校生活はあと半年」

9月17日(水)に中学校体験があり、6年生が参加してきました。事前に小集団指導の中でも少し紹介をしてきましたが、実際に体験するなかで6年生の子達も自分なりに感じるものがあったようです。当日はまず体育館に集合し、聖ヶ丘中の紹介動画を見た後、事前に取り決めた体験授業への参加と進んでいきました。中学校の教室は中学生サイズの机と椅子が並び、各教科(数学・社会・国語・技術・体育)の先生方が丁寧に学習を進めっていました。子供たちは中学校という場や先生の指示に緊張した面持ちでしたが、指示の内容や、自発的に取り組む学習課題への雰囲気はやはり中学校。その感覚を感じ取って集中して取り組んでいました。体験授業の後は部活動の見学です。案内には中学生の代表が担当に付き、各部活を案内してくれました。時折それ違う中学生からは「あ、先生お久しぶりです!」等の声も聞こえてきます。小学校から卒業して数年での中学生の成長を強く感じました。体育系から文化系の部活を一通り見学していく中、自分なりのイメージも少しずつ具体的になってきた子もいたようです。小学校での振り返りでは「すごく楽しかった!」「絶対~部に入りたい」という感想が聞かれました。

6生にとって半年先の中学校生活はまだまだ具体的にならない部分もあると思います。ただ「あと5か月ちょっとしかないのかあ…」という感想も聞かれ、彼らなりに思いがあるのだなあと感じました。

中学進学に際しては学習の難易度が上がることや自己責任の範囲が大きくなる学校生活など、ご家庭を含め子供たちも身構えてしまうことも少なからずあることだと思います。ただ、今年も昨年の卒業生達の成長している姿を見る事ができました。個々には色々と苦労のある日々もあるかもしれません、そうした卒業生の姿に勇気をもらえた時間でもありました。6年生の小学校生活はあと半年。

小学校での生活を自分なりに満喫しながら自分の進路へのイメージをさらに具体的にしていくたらと思います。
*文章の内容に他の巡回校での指導エピソードを含んでいることがあります。

